

第1回 日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会 議事録

日 時 平成26年4月28日(月) 午後3時～午後5時
場 所 日進市中央福祉センター 2階 多機能室

出席者 <委員>谷口功(委員長)、井手宏(副委員長)、山路敏雄、伴律子、
鈴村義尊、大野忠夫、高部友規、高橋光雄、秋田有加里、
住田敦子、成田ゆき江、田口恵美子、井口紘一、数井美津子
<事務局>市(福祉部福祉課):加藤部長、水野課長、川本主幹、
小出課長補佐、嶋崎係長、久野主任
社会福祉協議会:田中会長、青山事務局長、天野係長、福田主事
都市造形研究所:細井、赤津

欠席者 なし

傍聴の可否 可
傍聴の有無 3名

次第 1. あいさつ

2. 委員委嘱及び自己紹介

3. 委員長と副委員長の選任

4. 議事

(1) これまでの計画の成果と課題について

(2) 福祉コミュニティ意識調査とわたしのまちの座談会について

(3) 計画の策定体制や流れ等について

5. その他

事務局 平成 26 年度第 1 回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会を開催いたします。

本委員会は、第 2 次日進市地域福祉計画と第 4 次地域福祉活動計画を策定していくための会議となりますが、第 1 次日進市地域福祉計画の推進体制から新たな体制になって初めての委員会となります。

本来であれば、委嘱書を委員皆様ひとりひとりにお渡しさせていただくところですが、あらかじめ机の上に置かせていただきましたので、よろしくお願ひします。本日写真撮影もさせていただきます。ご了承願ひします。

本日は、すべての委員がご出席いただいております。委員 14 名のうち、全員がご出席いただいておりますので、過半数以上の出席により、本日の委員会は成立いたします。まず始めに、委員会の開催に先立ちまして、福祉部長である加藤よりごあいさつを申し上げます。

部 長 (あいさつ)

事務局 続きまして、委員の皆様の自己紹介ですが、名簿の訂正をお願いいたします。11 番の子育総合支援センターとありますが、日東子育て支援センターとなります。よろしくお願ひします。

名簿順に従って自己紹介をお願いいたします。

(委員、事務局の順に自己紹介)

事務局 次に、委員長及び副委員長の選任に移りたいと思います。
どなたか立候補、又は推薦などございますか。

委 員 谷口委員を推薦します。

事務局 ただいま、谷口委員との声が上がりましたが、いかがでしょうか。賛同される方は拍手をお願いします。

(拍手)

拍手が多数でしたので、谷口委員に委員長をお願いいたします。それでは谷口委員長には、委員長席に移動をお願いします。

続きまして、副委員長の選任になります。副委員長につきましては、委員長が委員の中から指名することとなっております。

それでは谷口委員長からご指名をお願いいたします。

委員長 東部地域包括支援センター長でもあり、地域での活動経験も豊富な方である、井手委員に副委員長をお願いしたいと思います。
ご承認をいただけますでしょうか。

(拍手)

事務局 ありがとうございます。
それではご承認いただきましたので、井手副委員長は、副委員長席に移動をお願いします。
それでは、議題に先立ちまして谷口委員長、引き続いて、井手副委員長よりご挨拶をお願いします。

(委員長、副委員長 あいさつ)

事務局 ありがとうございます。
議事に入る前に、本日の会議資料の確認をお願いします。

(資料確認)

会議の傍聴につきまして、本日3名の方が、傍聴を希望しておられます。日進市市民参加及び市民自治活動条例施行規則第11条の規定により入室を認めたいと思います。

それでは、傍聴者をお通してください。

それでは、本日の議事に先立ちまして、本委員会の役割や本日の議事内容の概要について、簡単に事務局から説明をさせていただきます。

(資料概要説明)

それでは、これからの進行については、委員長をお願いいたします。

委員長 委員長の谷口です。これからの議事の進行についてご協力よろしく申し上げます。
今年度、日進市は二つの計画を作ります。地域福祉計画と地域福祉活動計画です。庁内政策体制では、行政は何ができるのか、どのような福祉政策にしていきたいのかを検討していきます。
活動計画は市民がサポーター会議に参加し、どのような活動に展開していくのかを整理します。
両計画の整理、関係性をどうつけていくのかを10年でどう展開していくか、ど

う整理していくかを検討します。

議事（1）は「これまでの計画の成果と課題について」です。

第1次の地域福祉計画の成果として、これまでも毎年評価を行ってきたと聞いています。主にどのような評価となっているのか。また、残された課題などもあると思います。

まずは、これまでの計画の成果と課題について、事務局より説明をお願いします。

事務局 これまでの計画の成果と課題につきまして、議事（2）の「福祉コミュニティ意識調査とわたしのまちの座談会について」も関連するところがありますので、議事（2）についても合わせて説明させていただいてよろしいでしょうか。

委員長 よろしくをお願いします。

事務局 （資料説明）

委員長 ありがとうございます。

この10年はあらゆる資源が発見され、活動しているボランティア団体が抽出された10年であったと思います。

福祉は福祉の領域のみならず、市では各課、各活動団体の協力が必要となるので、互いのつながり、資源とのつながりをどう取り合っていくかを検討していくことが必要だと思います。

何かご質問、ご意見等がございましたら、忌憚のない発言をお願いします。

委員 実際に地域活動をしております。地域福祉計画を10年待つのは長すぎます。悠長なことを言っていられない、切羽詰った状況です。介護支援について、地域では要介護の方がいらっしゃいます。

私の活動を通じた資料を、皆様にお渡しいたします。ご覧ください。

今日、コンサルタント会社の方がおみえですが、私は残念に思いました。日進市だけでまとめれば出来るものだと思っていましたが、介護保険のまとめをする時と同じように、外部に委託するのは非常に残念です。

昨年から今年にかけて変化についての研修会がとても多く、私も参加いたしました。特に今年に入ってからには全国社会福祉協議会、市民団体グループ等の団体の問題が多く、切羽詰った状況であります。

行政はやる気があるのか、①住民が安心して暮せる町とする覚悟が市にあるのか、②住民に託す勇気があるのか、③行政の各課の連携は本当につくれるのか。

②について日進市は、社協に全てを委託するのかわかりませんが、全国社会協議会の集まりでは担えると言っておりませんでした。行政だけでは地域福祉計画はできない、住民ががんばるようにと、研修で言われてきました。

今回、社協の座談会のまとめは良かったと思いましたが、反省に終始してきた社協に託するのは疑問です。今のままの組織の社協ではやれないと思っています。日進市の市政がそうなのかと残念です。

(配布資料のたまり場の説明)

今地域で求められているもので、現在行っている活動です。これまで 20 年間、資金不足の中、活動を行い、社協との連携も求めて続けてきましたが、拒まれておりました。未だに、行政の名前がないと活動資料を置かせてもらえない。社協のセンターを借りるのも、市の依頼がないと借りられない、非常に閉鎖的な状況です。

私たちの活動は支援組織を頼っているだけでは、継続は難しいといえます。地域には色々な人間関係・プライバシーがあります。支援組織ではない、フリーな立場の、皆で運営を支え、住民のプライバシーも受け止めることの出来る団体・スタイルでないと、住民が頼りにしていくのは難しいのではないのでしょうか。

あいサポート、あいあいサロンの活動をとおして、住民のニーズに対応してきた経験から、今、日進市は早急に対応を求められていると感じております。

委員長 ありがとうございます。

活動されてきた経験をもとに、今、日進市の抱えていると思われる問題点を指摘していただきました。他にもご意見・質問がありましたらお願いいたします。

委員 これから先、一年かけて地域による問題点の差の整合性は、どうすり合わせていけばいいのか悩むところです。

サポーター会議で挙げられた内容を委員会で報告することとなりますが、どういう視点で検討していけばいいのでしょうか、悩みます。

委員長 サポーター会議での内容の整理をどのようにしていくか、事務局から説明をお願いしたいと思います。

委員 多少の地域差はありますが、全ての地域で共通の課題は即対応していただきたい。挙げられなかった地域もありますが、ほとんど共通の課題といえます。

事務局 第 1 次福祉計画での反省点として、一つの課題に対して市全体として対応してきたもので、それぞれの対応が不十分でありました。それを踏まえて、全小学校区ごとは難しいかもしれませんが、今回はある程度の地域ごとに対応できる計画としての構想を考えています。

委員 いいと思いますが、そうしますと、それぞれの地域のニーズを反映するためにサポーター会議のメンバーも人選をやり直さないといけないのでしょうか。小学校区で個々の課題がでています。これらの個別の問題をとらえるのは難しいのではない

でしょうか。

委員長 今回の資料データは主観としてのデータと捉えて見ていただきたいと思います。
他にも、ご意見、質問がありましたらお願いいたします。

委員 この10年間を振り返ると、地域福祉計画を市民に伝える活動をしてきましたが、
果たしてどれだけ伝わっているか、常に疑問でした。

全国問題となっている孤独死を取り上げた地域フォーラムも行いましたが、なかなか伝わっていかなくったと思っています。

市内に6ヶ所、しゃべり場である「ほっとカフェ」を広げてきました。まだ芽が出たばかりですが、そこから色々なものが広がっていけばいいと思っています。それと、市内の中でも地域によって組織の作り方に違いがあります。その事に対応していかないと、問題を見落としてしまうと思います。

私どもは社協と共に一年間話し合い、7、8つの部ができました。学童見守り隊、ほっとカフェ部など。全部有志活動によるものです。今後どのように育っていくか、これからですが、報告とさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。議題(1)の振り返りとして、これまでの座談会やアンケートのまとめでした。

委員 高齢化率について、実質の高齢者数を掲載しないと、地域によってばらつきが生じ、単に率で、高齢者が多い・少ないと判断できないと思いました。

委員長 ありがとうございます。

私自身の進め方についての考えとして、テーマ型活動、地縁型活動のどちらかを否定することはないと思っています。

地縁型の閉鎖性であったり、担い手の問題であったり、活動の縮小がみられるのも事実です。そこをサポート、支援する形としてテーマを持って活動している市民団体があるのも事実です。

地縁型のコミュニティとテーマ型のコミュニティがどう折り合いをつけていくのか、未だに悩んでいるところです。

待ったなしの現状に対し、どのように生活をするのか、現にある組織、団体を活用していく他はなく、それでも担いきれない活動を、ボランティア団体などが担っています。各組織とのつながり方・仕組みづくりを、十年といわず、すぐに取り組むべき課題であると思います。

こういった視点で、サポーター会議、プロジェクト会議、行政の方でも課を超えた形で作っていきたいと考えています。

他に何か質問、ご意見がありましたらお願いします。

委員 私どもも、困ると NPO に助けを求めたり、支えてもらうなど、制度にならない手助けをしてもらい、勉強をさせていただいたり、大変感謝しています。こういった大切な社会資源としての団体があり、社協にも地域福祉の担い手として、これまでの反省を踏まえ、全体の取りまとめを担う役割を見つめなおすときだと思えます。

今回大きな指針となる 10 年を、活動の重要な担い手は地域活動団体でもありますが、自主活動団体への資金面の支援など、各支援団体が活動できる手助けを、社協のできることが何かを考えていきたいと思えます。

地域による問題の差もありますが、全体的な意見をとらえていく必要があります。座談会では若い方で出席する方が少なく、若い方の意見も抽出できるアイテムを、いろいろな活動をしている社協にもご意見や提案をしていただきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。

アンケートや座談会からわかるように、若い方達もそうですが、本当に困っている方や、障害のある方、または高齢の方で会に出席できない方々の、拾えなかった声についても、難しいことですが、私たちは思いを寄せ考えていく必要があると思えます。

実際に身近に接して声を聞いている活動をされている方から、反映できるよう努めたいと思えます。

次に議事 (3) は「計画の策定体制や流れ等について」です。

今後の計画策定の体制や検討していく事項、策定の流れなど、今後どのように計画をつくりあげていくのか、事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料説明)

委員長 ありがとうございます。

ただいま議事 (3)「計画の策定体制や流れ等について」事務局から説明がありました。

今後の計画策定において、何かご質問、ご意見等がございましたら、発言をお願いします。

無ければ以上が、本日の委員会での議事となります。

それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございます。

それでは、次第の 5. その他です。今回の計画策定は、冒頭でもご説明させていただきましたが、社会福祉協議会の地域福祉活動計画を含めた策定を予定しています。

会議の最後となりますが、社会福祉協議会の田中会長より、皆様に対して、ごあいさつをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

会 長 (あいさつ)

事務局 ありがとうございました。

 次回の委員会は、10月2日の木曜日、午後3時から市役所の第5会議室を予定しています。

 会議の開催1ヶ月前にはご案内を送付いたしますので、よろしくお願いいたします。

 事務局からの連絡は以上となります。

 それでは、第1回日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会をこれで終了します。

 本日はありがとうございました。

(午後5時閉会)